

令和8年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の事業計画（案）について

1 在宅医療・介護等連携推進協議会、部会の開催

	日程	協議事項(案)
第1回 部会	7月2日(木)	・令和8年度第1回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方について (1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会について (2) 令和8年度実施計画及び部会・ワーキング部会実施計画について (3) 評価指標の状況について
第1回 協議会	7月14日(火)	(1) 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会について (2) 令和8年度実施計画及び部会・ワーキング部会実施計画について (3) 評価指標の状況について
第2回 部会	2月	・令和8年度第2回高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会の進め方について (1) 令和8年度実施状況及び課題の整理 (2) 令和9年度の実施計画(案)について
第2回 協議会	2月	(1) 令和8年度実施状況及び課題の整理 (2) 令和9年度の実施計画(案)について

2 各ワーキング部会の開催（資料No.3-2～5 参照）

(1)在宅支援ワーキング

資料No.3-2

多職種を対象とした研修会の企画・運営等の検討を行う。

(2)情報共有ワーキング

資料No.3-3

高岡多職種ネットを活用した研修会の企画、多職種共通の情報共有ツールの検討を行う。

(3)普及啓発ワーキング

資料No.3-4

ACP等の普及啓発についての検討、在宅医療・介護・障害福祉サービスの住民への周知について検討を行う。

(4)在宅医療を担う医師確保等の検討ワーキング

資料No.3-5

在宅医療を担う医師を確保するため、在宅医確保のための解決策について検討を行う。

3 研修会の開催

	日 程	内容(案)
第1回	9月17日(木)	多職種事例検討会（テーマ：大腿骨頸部骨折地域連携パスについて（※））
第2回	12月	高岡多職種ネットを活用した事例について
第3回	2月	未定（在宅支援ワーキングにて検討）※オンラインにて開催

※テーマ(案)：転倒骨折予防、ACP(意思決定支援)、災害時の連携等

※地域連携パス…疾患ごとに標準的な診療計画を立て、急性期病院から回復期病院、そして自宅での療養まで、複数の医療機関が協力して患者を支えるシステム

4 普及啓発の実施

- ・「人生いきいきノート」及び「人生いきいきノートアプリ」の普及
- ・市公式ホームページ等を活用した在宅医療・介護・障害福祉サービスの住民への周知
- ・ACP 等についての普及啓発（出前講座等）

5 アンケート調査の実施

（１）第 10 期高岡市高齢者保健福祉計画・高岡市介護保険事業計画の策定に向けた調査（集計中）

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

②在宅介護実態調査

③地域包括支援センター調査

④居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・看護小規模多機能型居宅介護事業所調査

（２）終活の取組状況に係る市民アンケート調査（TAKAOKA アプリから回答）

<参考> 令和7年度 協議会等での意見や把握された課題と対応状況

	主な意見、課題	対応状況
1	・評価指標を各ワーキング部会で検討する必要がある。 ・プロセス評価、アウトプット評価も大切に、実施した過程についても評価していくとよい。	・在宅医療・介護等連携部会で活動体系図及び指標について検討した。 ・活動体系図をもとに、引き続き評価していく。
2	・評価指標の「ACPに関する理解度」について、分母が市民ではなく、TAKAOKA アプリを活用している人のみであり、非常に偏っている。指標にするのであれば、どの程度の市民が、ACPについて記載したことがあるか等のアンケートを取った方がよい。	・現在、実施している TAKAOKA アプリを活用した、「終活の取組状況」の調査結果と併せて、第10期高岡市高齢者保健福祉計画・高岡市介護保険事業計画の策定に向けた調査の1つである「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」にて聴取した。
3	各ワーキング部会で出た意見を協議会で協議するには、各ワーキング部会の内容の把握が必要。	各ワーキングの議事録を協議会、部会、ワーキング委員に共有した。
4	県の会議で、DPC ビックデータを使用した高岡医療圏の予測値の紹介があり、誤嚥性肺炎、骨折の患者が増えるとのことであった。肺炎、骨折は予防可能なため、この協議会で手立てを考えていくことが必要。	・令和7年度第3回在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会にて、誤嚥性肺炎の予防をテーマに開催した。 ・その他のテーマについては、今年度以降、計画予定。
5	入退院時に、どの職種でもわかるような情報共有ツールがほしい。	・情報共有ワーキングにて、多職種共通の情報共有ツールについての検討を行った。 ・多職種共通の情報共有ツールの内容・周知については、今年度検討予定。
6	情報共有ツール（案）について、ケアマネジャーや医療機関側の意見を聴取した結果、このツールを入院時情報提供書として活用することは難しいとの意見があった。	在宅医療・介護・障がい福祉関係者が対象者の病状や生活環境等の変化において情報共有・連携が必要な場合に活用するツールの1つとして検討していく。
7	ACPの仕組みを作っていくこと、若いうちから考えていくことが大切である。 ACPについて、専門職と市民への普及が大切。	・令和7年12月1日より、TAKAOKA アプリ内に「人生いきいきノート」機能を追加。 ・「人生いきいきノートアプリ」の住民への周知方法については、今年度検討予定。
8	退院後の医療や在宅介護サービスの内容や手続きについて市民に分かりやすく示してほしい。	・令和8年4月より、市公式ホームページ内に、在宅医療、介護、障がい福祉サービスについて紹介する「ポータルサイト」を開設した。 ・「ポータルサイト」の住民への周知方法については、今年度検討予定。

高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 在宅支援ワーキング部会
令和8年度実施計画（案）

1 目的

在宅医療・介護等の提供体制の構築推進（連携強化、業務効率化、災害対応等）や、在宅医療・介護についての知識や技術向上を図る。

2 活動方針

- （１）医療・介護等の連携推進や業務効率化、人材確保に向けた周知啓発の検討を行う。
- （２）医療・介護関係者等の相互の役割・特徴等の理解を深めるとともに、在宅医療や介護の知識・技術向上に関する研修について検討する。

3 指標

指標名	調査方法	R6	R7
(1) 高岡多職種ネットにおける職能団体の情報共有グループ数	市	13 件 (R7. 3. 31 現在)	19 件 (R8. 3. 31 現在)
(2) 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数	市	第 1 回 59 人 第 2 回 100 人 第 3 回 101 人	第 1 回 70 人 第 2 回 54 人 第 3 回 83 人
(3) 連携をしやすと感じる多職種の人の割合（「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種、他機関との連携は、円滑にできていると思いますか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査 (R9 実施予定)	69.4%	—
(4) 研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人の割合（「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合	高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート	第 1 回 92.9% 第 2 回 88.9% 第 3 回 84.4% 平均：88.7%	第 1 回 84.2% 第 2 回 94.1% 第 3 回 82.6% 平均：86.9%

4 会議の予定

	日 程	協議事項(案)
第 1 回	6 月 17 日(水)	(1) 活動計画の検討 (2) 令和 8 年度 研修会のテーマについて
第 2 回	9 月 2 日(水)	(1) 研修会の具体的な進め方の検討 (2) 課題の解決に向けての協議
第 3 回	12 月 9 日(水)	(1) 指標の評価 (2) 次年度の計画の方向性の検討

高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 情報共有ワーキング部会 令和8年度実施計画（案）

1 目的

日常の療養、急変時、入退院時、看取りの4場面及び災害時における連携ルールや手順等の理解を深め、医療・介護・障がい関係者等の情報共有を推進する。

2 活動方針

- (1) 高岡多職種ネットの普及啓発を図り、システム利用者間で情報共有・連携を行うことで、より対象者の状態に応じた医療・介護・障がい福祉サービスを提供する。
- (2) ICTによる業務効率化により、医療・介護・障がい等従事者の負担軽減を図る。
- (3) 入退院時（病院から在宅、在宅から病院への引継ぎ）等、医療・介護・障がい関係者の連携がより円滑となるよう、連携のためのルールや情報共有の手順等に係る手引きを策定する。

3 指標

- (1) 高岡多職種ネット登録施設数、利用者数、患者登録数

	登録施設数	利用者数	患者登録数
令和6年度当初	180 施設	800 人	417 件
令和7年3月31日現在	278 施設	1,147 人	637 件
令和7年12月31日現在	305 施設	1,242 人	822 件
令和8年3月31日現在	310 施設	1,252 人	883 件

- (2) 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数

	参加者数
令和6年度	100 人（オンライン）
令和7年度	54 人（対面）

- (3) 高岡多職種ネットを活用することで多職種連携が効果的に図れていると思う人の割合（「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種ネットを活用することで、多職種連携が効果的に図れていると思うか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合

	割合
令和6年度	92%
令和7年度	—

- (4) 研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人割合（「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合

	割合
令和6年度	88.9%
令和7年度	94.1%

- (5) 多職種共通の情報共有ツール導入後の多職種の人満足度

	満足度
令和6年度	—
令和7年度	—

4 会議の予定（案）

	日 時	協議事項
第 1 回	6 月 19 日（金）	・活動計画の検討 ・多職種共通の情報共有ツールの内容・周知検討 ・課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討
第 2 回	10 月 9 日（金）	・研修会（高岡多職種ネットの活用事例の紹介）の内容検討 ・課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討
第 3 回	1 月 8 日（金）	・指標の評価 ・次年度の計画の方向性の検討

高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 普及啓発ワーキング部会
令和8年度実施計画 (案)

1 目的

在宅医療・介護・障がい福祉サービス、人生いきいきノートを活用した人生会議（ACP）等についての情報提供を行い、市民一人ひとりが、在宅医療・介護・障がい福祉サービスを受ける選択肢を持ち、人生の最期まで自身や家族が望む医療やケアを受ける人を増やす。

2 活動方針

- （１）市民に在宅医療・介護・障がい福祉サービスの内容や手続きの流れ等についての正しい知識の普及啓発を行う。
- （２）人生いきいきノートや人生いきいきノートアプリを活用した人生会議（ACP）について、普及啓発の機会を設ける。

3 指標

- （１）在宅医療・介護を受ける選択肢の認知度（在宅医療・介護に対する理解が深まった人の割合）
令和7年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

①「病気になったり日常生活を送る上で介護が必要になった場合、自宅での在宅医療や介護を希望しますか」で「はい」と回答した割合 ※集計中

②「ご自身が望む 在宅 医療や介護は、実現可能だと思いますか」で、「はい」と回答した者の割合 ※集計中

- （２）ACPに関する理解度

①人生会議（ACP）に関する講座の開催数・参加者数

	開催数	参加者数
R 6	14	221
R 7	9	554

②「終活のために取り組んでいることはありますか」の問いに取り組みをしていると回答した人の割合 67%（R 6）、65.5%（R 7）

- （３）人生いきいきノートアプリの登録者数

	人生いきいきノートアプリ 登録者数
R 6	—
R 7	71 人（R8.3月末時点）

4 令和8年度会議開催計画(案)

	日 程	協議事項(案)
第1回	6月18日(木)	(1) 活動計画の検討 (2) 普及啓発媒体（人生いきいきノート、アプリ、ポータルサイト）の住民への周知方法の検討
第2回	9月10日(木)	(1) 具体的な普及啓発媒体の住民への周知の検討 (2) 課題の解決に向けての協議
第3回	12月17日(木)	(1) 指標の評価 (2) 次年度の計画の方向性の検討

令和8年度 高岡市在宅医療・介護等連携推進協議会 在宅医療を担う医師確保等の検討ワーキング実施計画（案）

1 目的

在宅医療を担う医師の確保や医師の業務負担軽減等、在宅医療提供体制の確保を図る。

2. 活動方針

医師の訪問診療への参入促進、在宅医療を担う医師の負担軽減等について、課題の把握や解決に向けて検討を行う。

3. 指標

	指標名	調査方法	R6	R7
1	在宅医療介護研究会への参加者数	医師会	299 人	324 人
2	在宅医におけるバイタルリンク使用率 在宅医における ACP 実施率	在宅医へのアンケート結果	44% 56%	54% 54%

4. 令和8年度会議開催計画(案)

(1) 在宅医療連携会（看取りの会） 年間 1～2 回予定

	日 時	会場	内 容
第 1 回	8 月	医師会ホール 会議室、ハイブリッド開催	(1) 在宅医に対するアンケート実施 (2) 連携推進、若手育成等の意見交換
第 2 回	2 月		(1) 医師の訪問診療への参入促進を図るための検討 (2) 在宅医療を担う医師の負担軽減についての検討

(2) 在宅医療介護研究会 年間 6 回

	日 時	会場	内 容
第 1 回	5 月	医師会ホール 会議室、ハイブリッド開催	(1) 症例検討 (2) 在宅医療・介護の現場で困ったことや症例の相談
第 2 回	7 月		(1) 症例検討 (2) 在宅医療・介護における問題点の抽出
第 3 回	9 月		(1) 症例検討 (2) 在宅医療・介護の現場で困ったことや症例の相談
第 4 回	11 月		(1) 症例検討 (2) 在宅医療・介護の現場で困ったことや症例の相談
第 5 回	1 月		(1) 症例検討 (2) 在宅医療・介護の現場で困ったことや症例の相談
第 6 回	3 月		(1) 症例検討 (2) 在宅医療・介護の現場で困ったことや症例の相談